

福岡市保健環境学習室「まもる～む福岡の再構築」について

1. 「まもる～む福岡」の概要

開設目的: 地域及び地球環境の保全を図ることを目的とし、地球環境保全施策及び保健衛生行政を、全ての市民に浸透させ、市民自ら参加できる、科学的実験を通じた環境学習をすることが出来るよう開設したものの。

(1)所在地 福岡市中央区地行浜2丁目1-34 1F



(2)施設規模 約549㎡ (研究学習ゾーン313㎡, 体験学習ゾーン236㎡)

(3)開設 平成9年5月

(3)開設経費 2億9,072万円(内、国庫補助金1億4,340万円)

(4)利用料金 無料

(5)開館時間 午前10時～午後5時

(6)休館日 毎週月曜日(当日が祝日の場合はその翌日)
毎月最終火曜日

(7)来館者数 12,000人(内、子ども6,400人)

(8)施設内容



①体験学習ゾーン

- ・映像を見ながら、クイズ形式で保健衛生や環境について学び考える体験空間
- ・環境や保健衛生をテーマにした常設シアター
- ・環境や保健衛生に関する科学実験や工作体験
- ・絶滅危惧種のカブトガニやヒナモロコを飼育展示

②研究学習ゾーン

- ・環境や保健に関する各種情報を展示物やパソコンで紹介

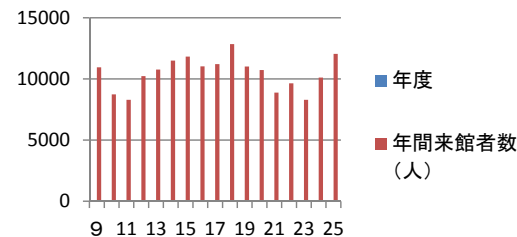
2. これまでの施設改修(関連施設含む)及び管理運営状況

平成6年度 平成9年度	「西部3Rステーション」開館 「まもる～む福岡開館」 「ミニリサイクルプラザ」開館	
平成13年度 平成15年度 平成19年度 平成20年度	「臨海3Rステーション」開館 展示物改良及び展示資料データ更新 クイズラリーシステム更新	○環境教育・学習計画推進協議会から展示内容等について意見
平成21年度	展示設備(温暖化コーナー)更新	
平成22年度		○環境教育・学習計画推進協議会から地域等との連携強化を検討するよう提言
平成23年度		○環境教育・学習計画推進協議会から展示内容(温暖化充実等)について提言
平成24年度	「スマートハウス常設展示場」開設 展示物システム(ガイア学習システム, パソコン, 学習システム更新)	●行財政改革プランにて「まもる～む福岡」を廃止も含めて検討すべき」との意見
平成25年度	「まもる～む福岡」の現状把握, コンセプト・方向性の検討 ※九州電力「九州エネルギー館」閉館(平成26年3月) ※青少年科学館基本計画報告(平成29年度移転開館予定)	
平成26年度	「まもる～む福岡」再構築の検討開始	

再構築を検討するにあたっての課題及び方向性

平成9年に体験型学習施設として設置された「まもる～む福岡」は開設から16年が経過し、施設の老朽化や来場者の減少をはじめ、知名度不足や駐車場問題など様々な課題がある。

「まもる～む福岡」年間来館者数推移



- ・PM2.5や熱中症など、環境問題の多様化・複雑化に対して、迅速かつ的確な情報提供が出来ていない。(保健環境研究所を含む)

- ・開設当初の目的(地球環境保全施策)が3Rステーションやスマートハウス等が開設され、重複している。

- ・環境問題に自立的に取り組む人材育成や地域づくりに応えきれていない

以上を踏まえ、保健環境研究所が持つ専門性・独自性を最大限に活かし、政策推進プランにおける環境局の柱である「健康と環境の安全・安心の確保」「生物多様性の保全」の達成に寄与することに特化した施設として再構築の検討を進めることとした。

現在、局内に組織横断的な検討グループを設置し、利用者意向調査、学識者等からのヒアリング、類似施設の情報収集を実施するとともに、関連事業を試行的に行っている。既存の枠に捉われず抜本的に見直しを行い、今年12月を目途に再構築に係る基本的方向を決定する。